

御子安様

《木之崎》

木之崎、泉福寺には、子安観音様がある。「お子安様」と呼んで村の人たちが信仰している。ずいぶん昔からあって、ご利益のある仏様である。

お産が近づくとお寺に申し込む。そうすると、村の青年たちが夜、厨子に入った御子安様を背負ってその家に着く。門口で手をたたいて、家の人に知らせると、その家の人が取り込むのを見てから帰る。家の中に安置して信仰するので、この村では難産するものもなく、皆丈夫な子どもに育つのである。

七夜には、取上婆様、親類の叔母様たち、隣近所の嫁様たちを招んで祝事をやる。

御子安様はまた、お寺にお帰りになる。お寺と青年に御神酒を各一升づつ上げる。お禮に頭布や前かけを御子安様に上げる。
(話者 橋本サツ)

御子安様



北作の地藏様

《北作》

北作屋敷の前の山裾に地藏堂がある。ここは梓衝、長楽寺の末寺で、迦羅陀山地藏寺といったという。本尊は、木造半加像の地藏様で、作者は不明だが、厨子に入ったりっぱな地藏様である。